



精隸牢獄

奇形魔物との自慰交尾に伴う破滅願望～

リエグ

決して触れてはいけない
最底辺の魔物との交尾

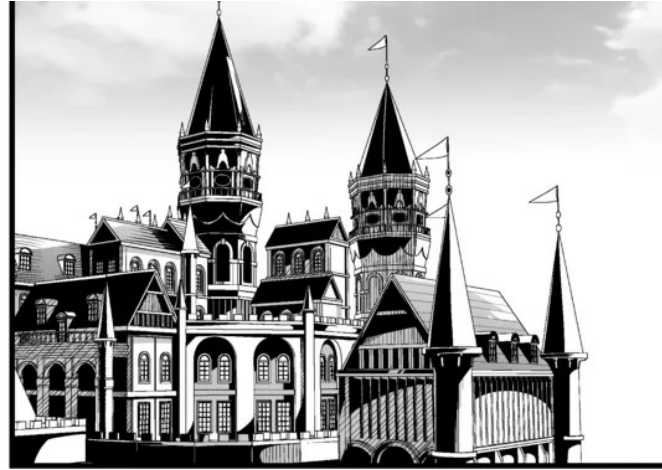
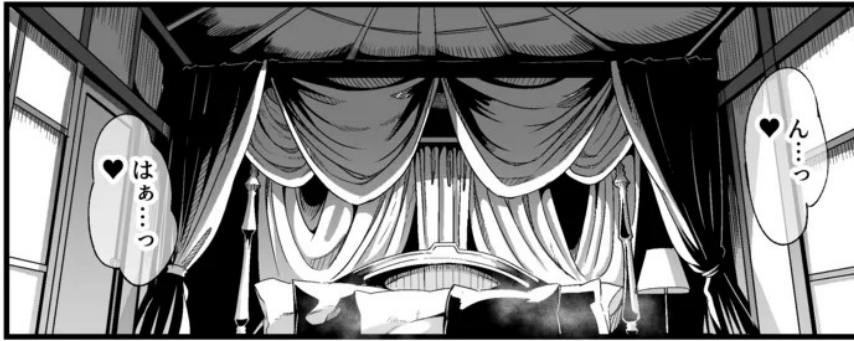
Illustration

んぐう

はっ♡
はっ♡
破滅♡
絶望♡

あっ♡
台無
なり
だめっ
だめっ





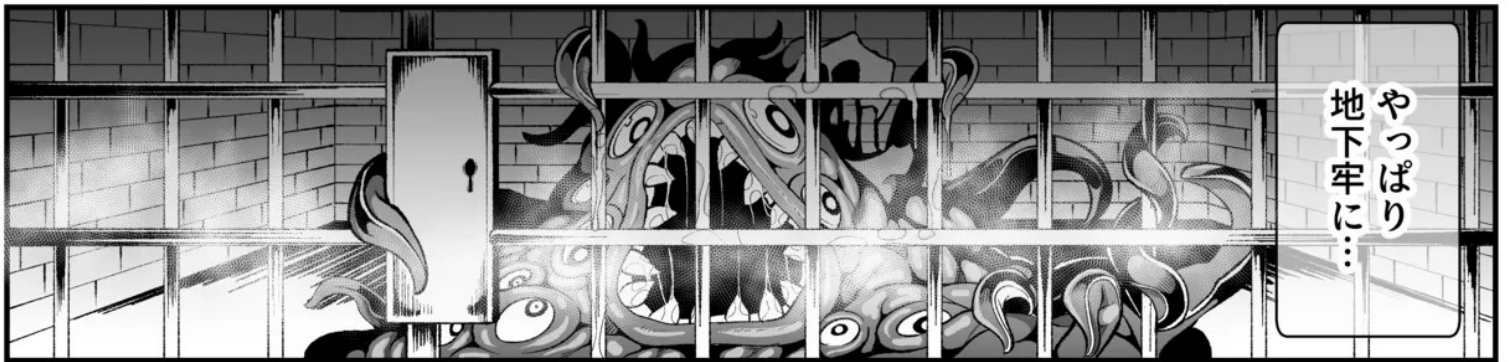


んあああああつ♡♡



メドマの
破滅呪詛を
受けて

もう
10年か…

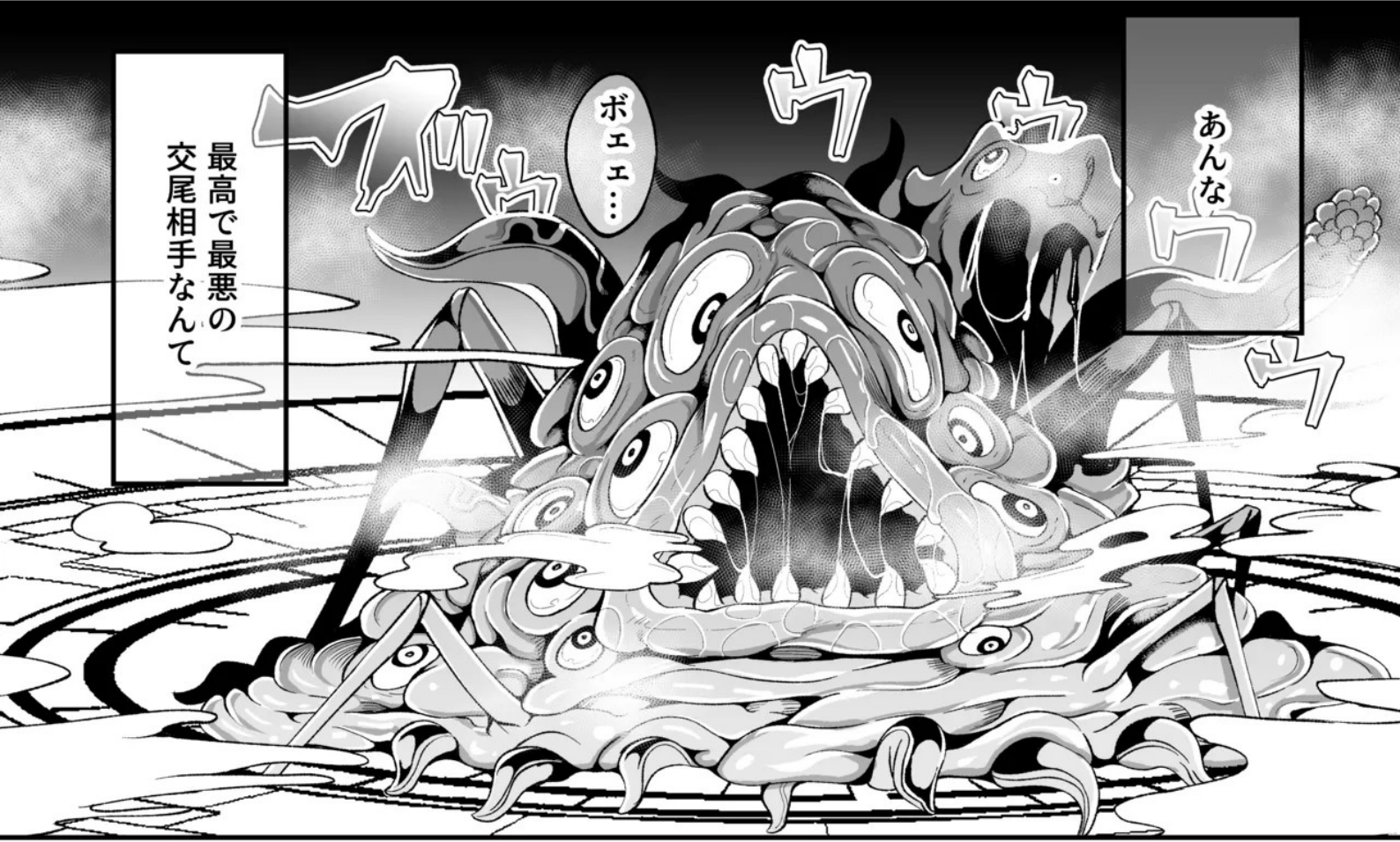
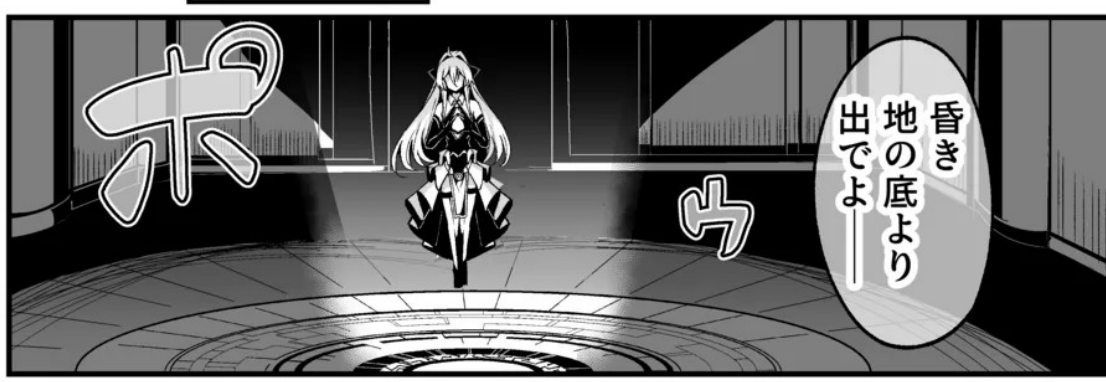
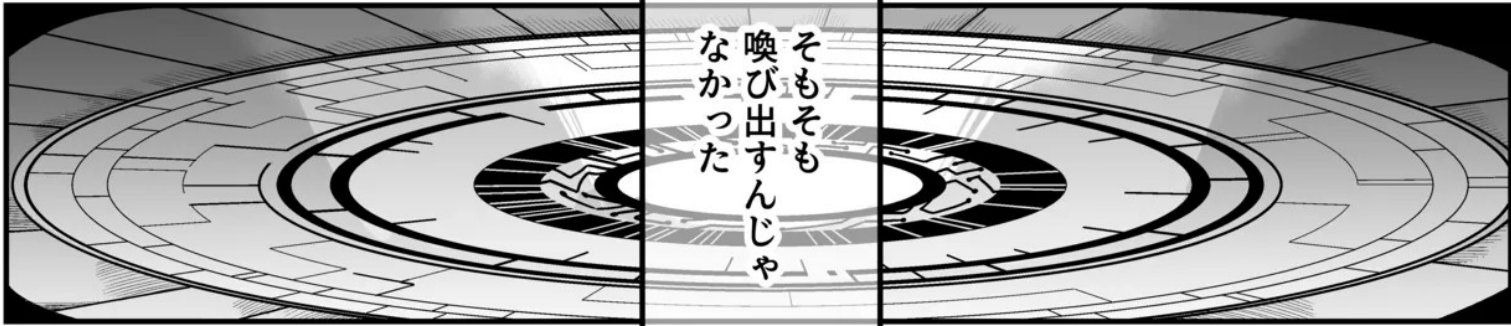


やっぱり
地下牢に…



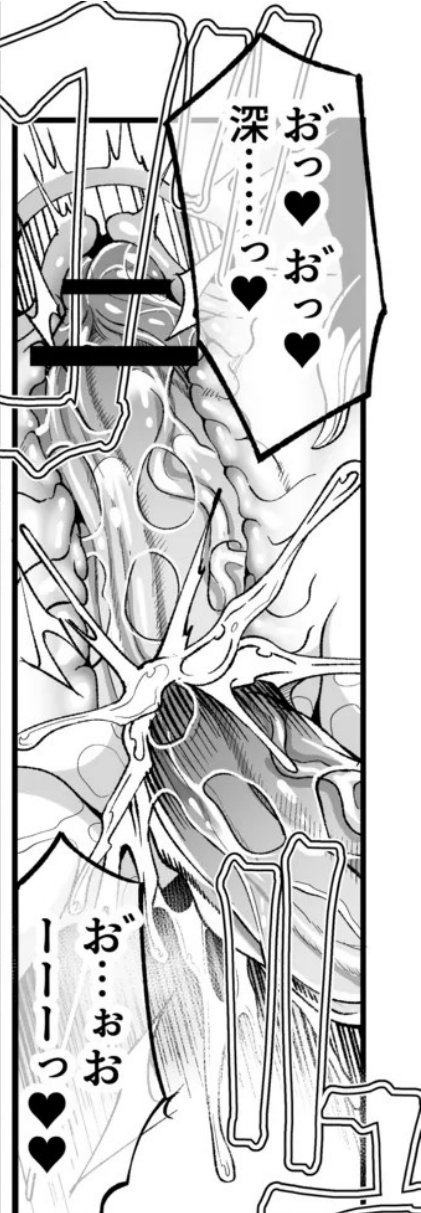
じよ…
冗談じゃない!







いつでも殺せる
相手との安全で
危険な遊び



おっ♡おっ
深……っ♡

お……お
ーっ♡

自慰と
変わらない



決して
触れては
いけない

最底辺の
魔物との
交尾



性欲が異常
すぎたこと以外
計画通り



それは

呪詛の
疼きを
忘れさせた





私は
のめり込み
すぎたんだ

あっ♡
あーっ♡

助けっ♡
んおっ♡



うっ!!

く…臭っ…
やめ…っ!



私は遊び
で

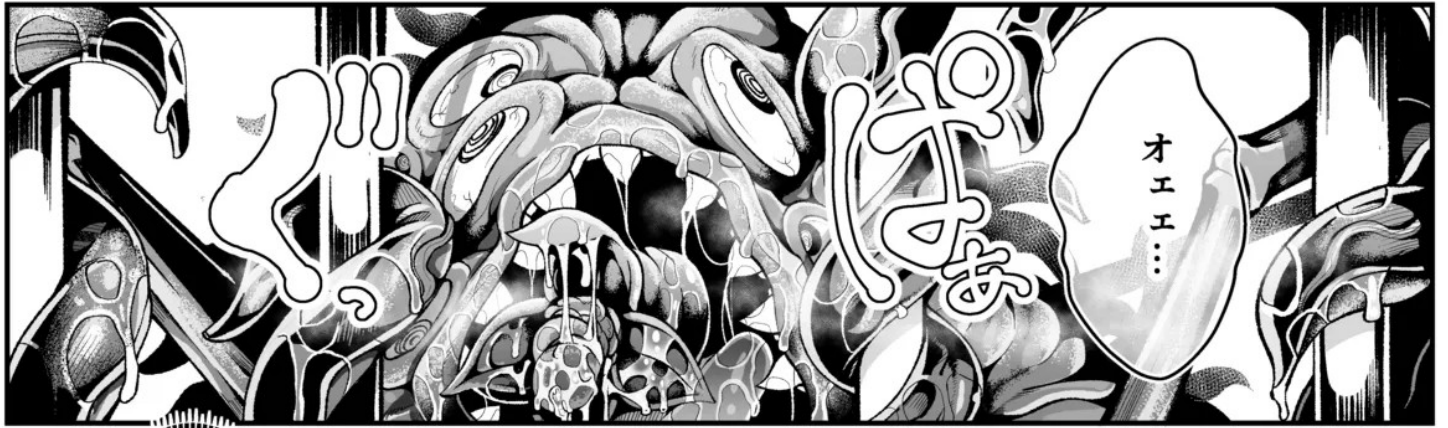
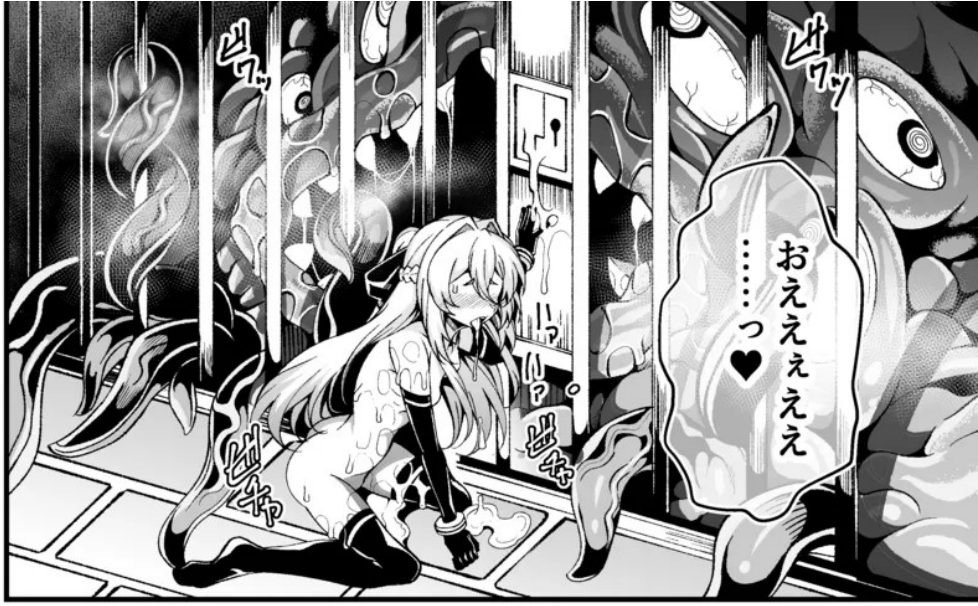
コイツは
本気だった

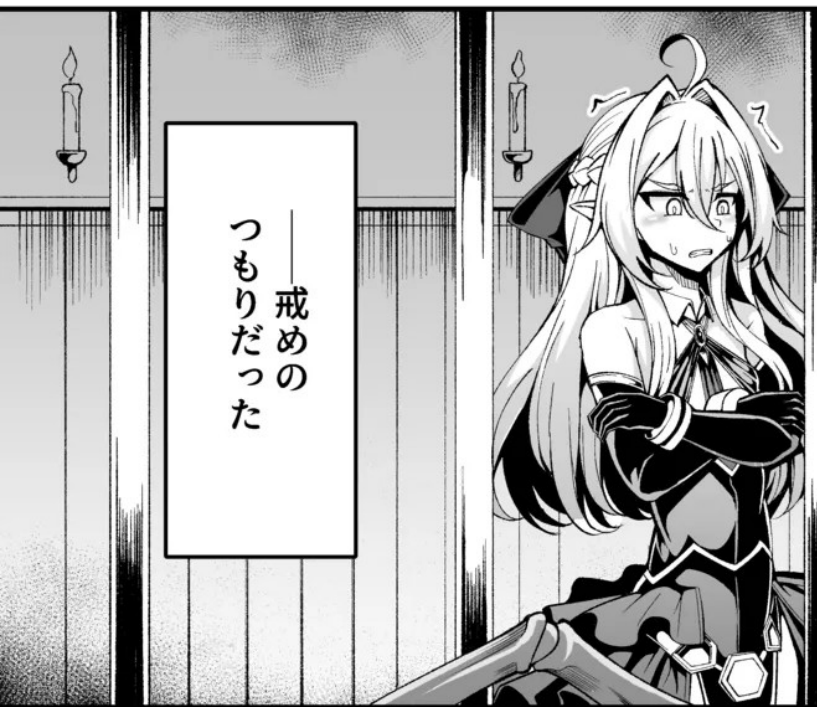
無理無理無理
いぐいぐいぐいぐいぐい



本気で
墮とす気で

んぐうっ♡





戒めの
つもりだった



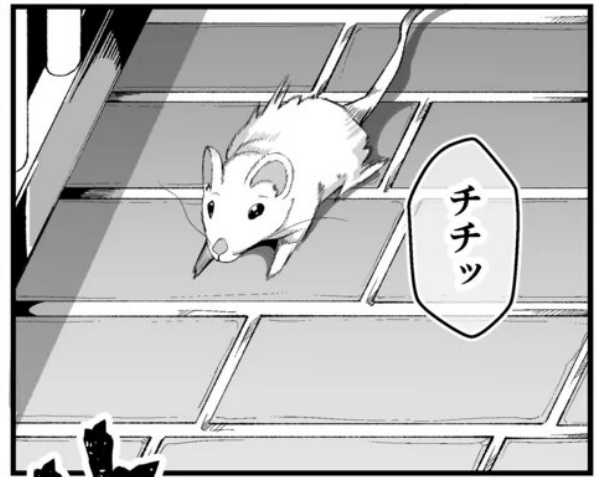
危険性
を…

再認識
しないと



おん…

オエエエ



チチツ



!!

クッ
クッ



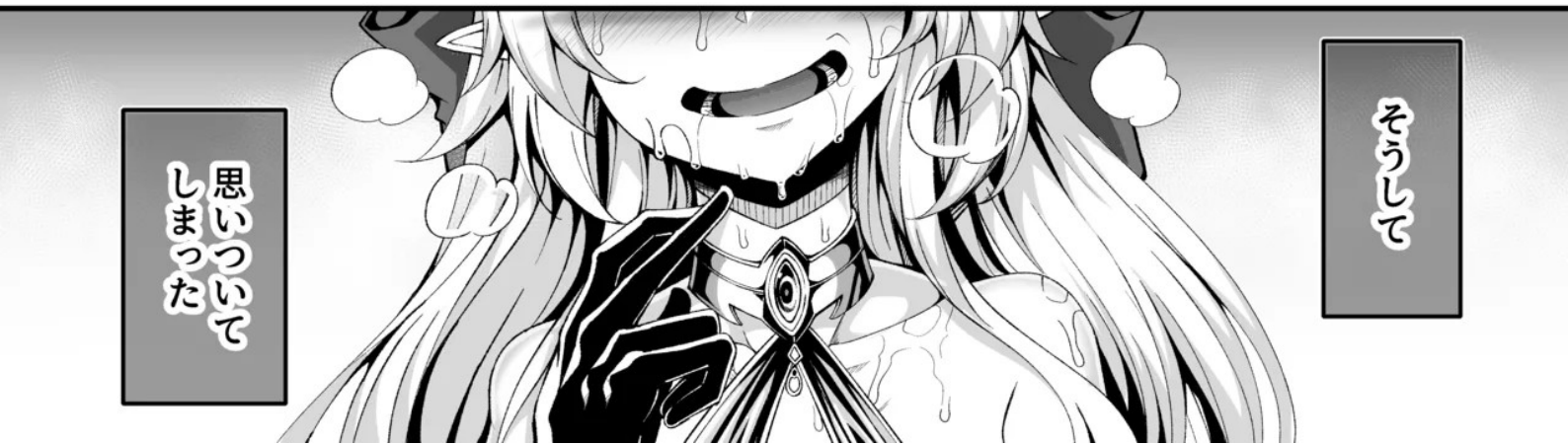
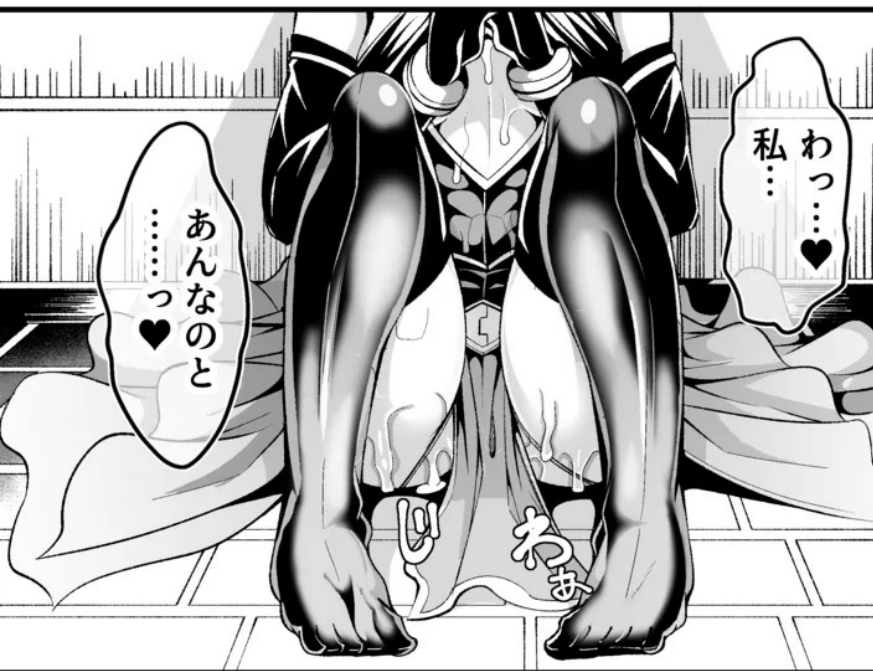
クッ



うわ…



チュウツ!?



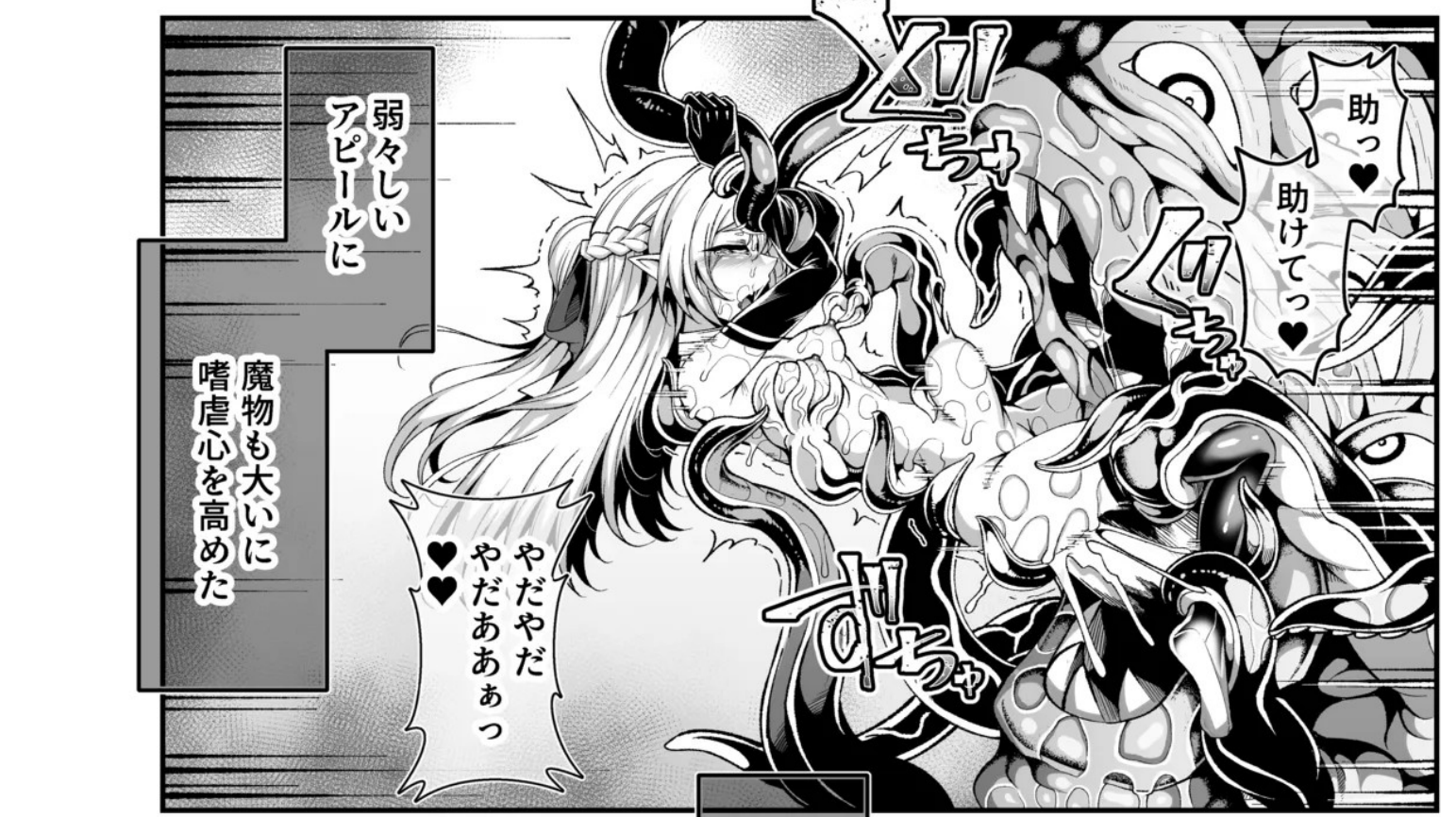


こ…来ないで
……っ!

魔力を
封じ

〔下位牝〕として
牢獄に入る
危険な遊び

ポエエエ



助っ♥
助けてっ♥

弱々しい
アピールに

魔物も大いに
嗜虐心を高めた

やだやだ
やだああっ

私も恐怖と
嫌悪感を強烈に
刺激され



快楽が
上限を超えた

ああ
ああ

メーララ



体力が
尽きようが
終わらない
交尾



思い出すだけで
身の毛がよだつ



牢の中
では
私はこの
醜悪な肉塊の
奴隷：以下

オエエ...



私がより
惨めで無様で
あることを強いた

惨めで無様な
魔物は



魔物は
私の主として
傲慢になっていった

最近…
生意気

っ…
こ…
っ…



オエエ!

オゲエ!



魔が差したと
言う他ない

ギッ



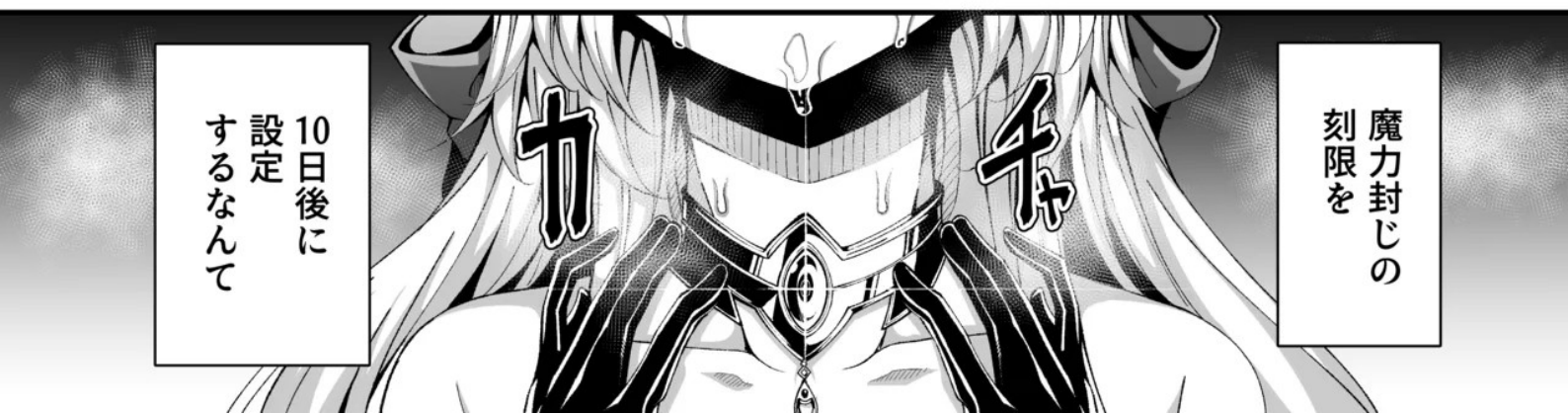
肉穴を
捧げに来る
召使いとしか
見ていないっ…♡

私を…

ぎゅ

うん

とろろ



10日後に
設定
するなんて

魔力封じの
刻限を

カ

チャ



あっ?

醜悪で
矮小で



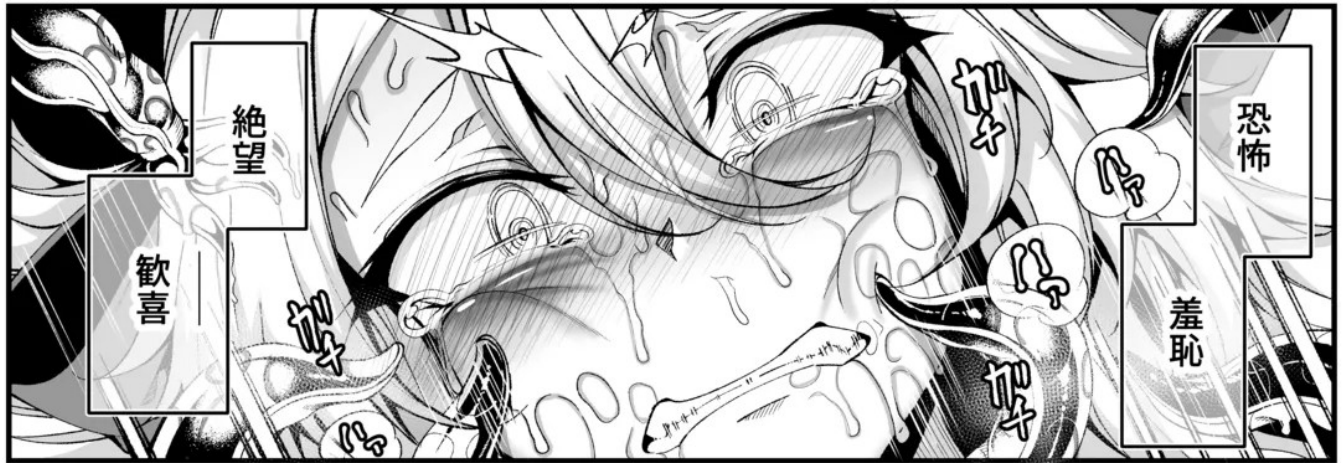
ごめんなひやらの♡
許してええっ♡

無様に
許しを請うた



子孫を残せる
はずもない
奇形魔族

だめっ♡
だめだめだめ
だめえっ♡



心は魔物を
視界に入れたく
ないと泣き叫ぶ

だからこそ私の
呪われた女性器は
このオスに全ての
権利を差し出せと叫ぶ

気がつけば
終わっていた

性器に
ブチ込まれた
ブラシが

早く
最低最悪の
破滅をくれと

この牢獄で
私が最底辺だと
語っていた

このオスの
前で無様に
泣き叫び

このオス以上に
醜悪な肉塊を
ひり出し

本能は醜悪な
オスとの交尾を
全力で拒絶している

理性はこの出産は
肉体に甚大な損傷を
与えると絶叫する

このオス以上に哀れで
醜悪な生命であることを
女性器で宣言しろと
そう叫んでいる

へ…っ♡

へえあ
……っ♡

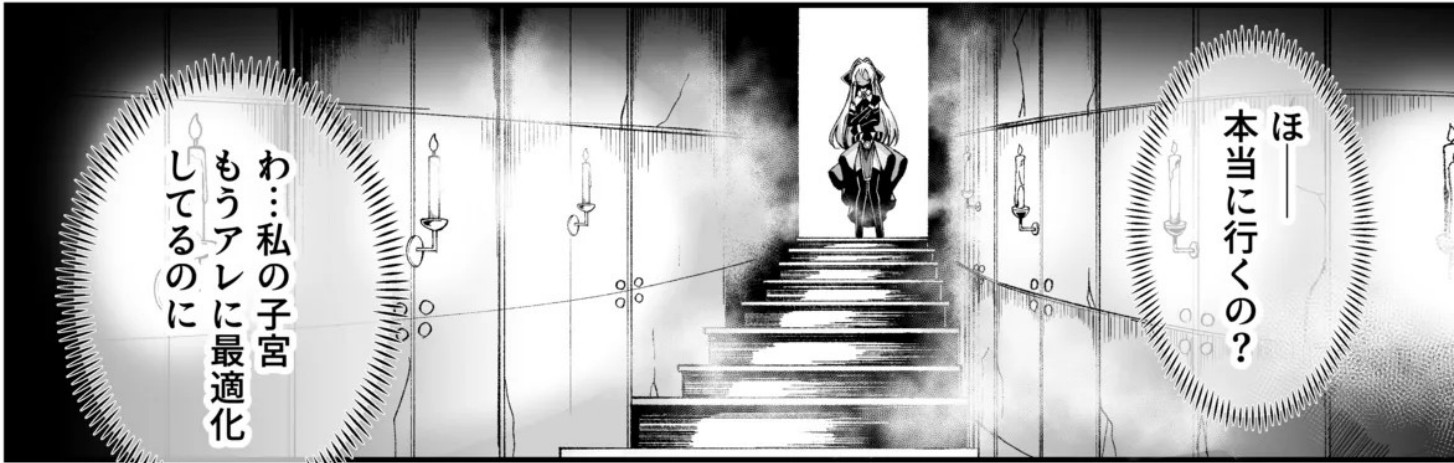


でも
次はきつと
……



幸い
——
孕まなかった

まともな精子
じゃないから



わ：私の子宮
もうアレに最適化
してるのに

ほ
——
本当に行くの？



あれの
交尾は……

辱め
甚振る
ためのもの



あれは
……

私を
精液便器としか
思っていない
のよ？



……ッ！



ま…待たせて
申し訳ありません
……

あなたの
牝に
墜ちた肉を

存分に翫って
虐めて壊して
ください…

わ…
私を…
醜悪で…
臭くて矮小な
お前よりもっ…

惨めで哀れな
牝肉にしてください
……♡

私は醜悪な
ベンズォよりも
哀れな牝肉です

私はベンズォに
媚び諂い女性器を
賠償のため提供し

出産機能で
永久に懺悔します



いやああっ♡
気持ち悪いっ♡

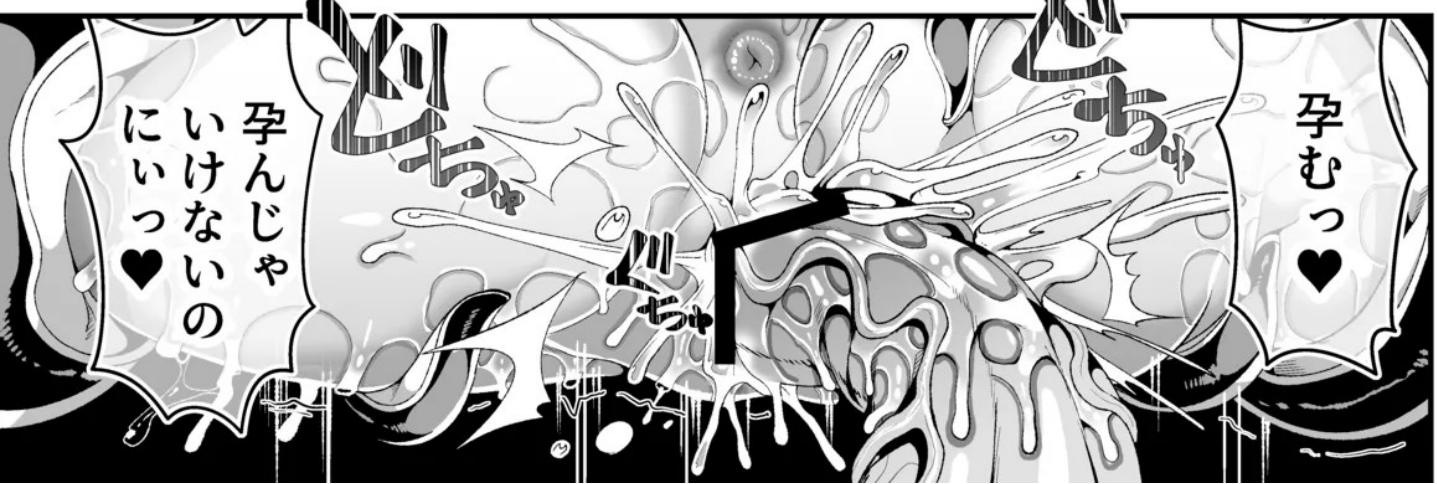


おおおおおっ♡
おっ♡



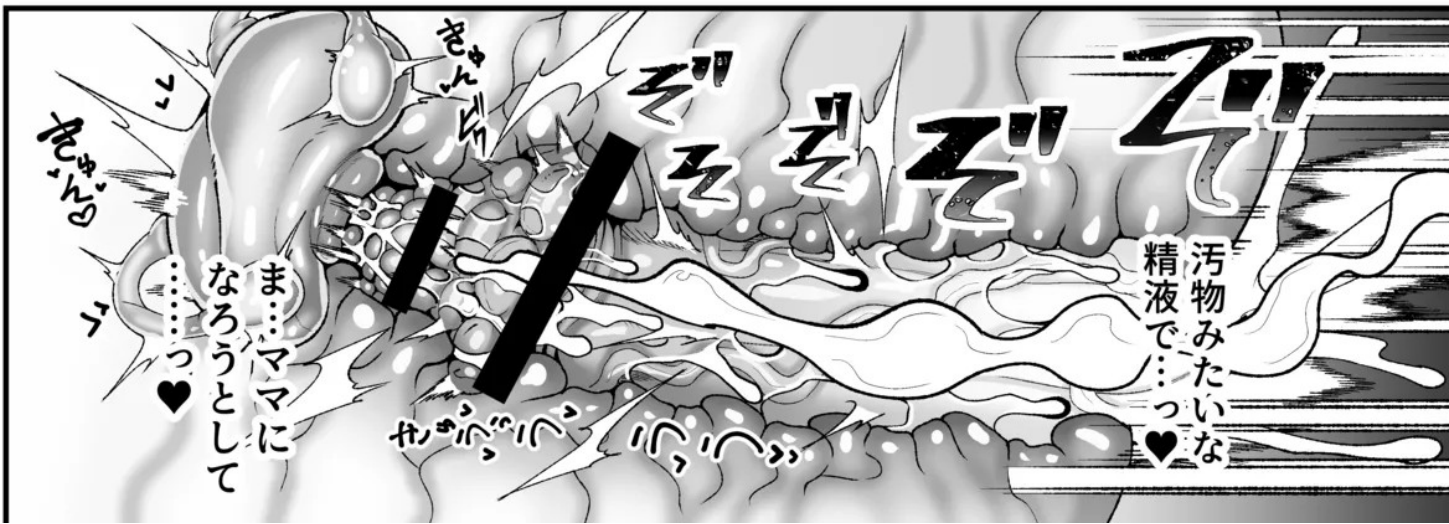
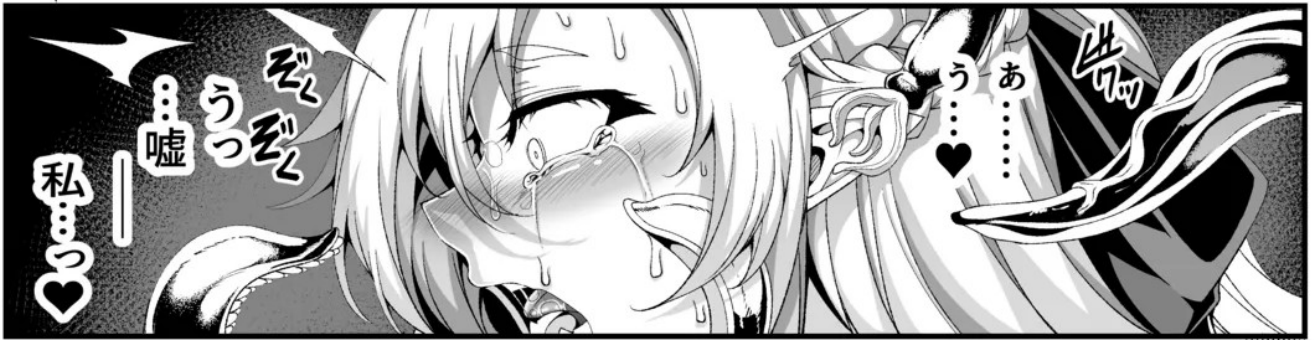
こんなの
いやああっ♡

助けてっ♡
あっ♡
あーっ♡



孕んじや
いけないの
にっ♡

孕むっ♡







う……
あああ……っ♡

ああ……まだ
終わらない
……っ♡



ッ!



あうっ♡



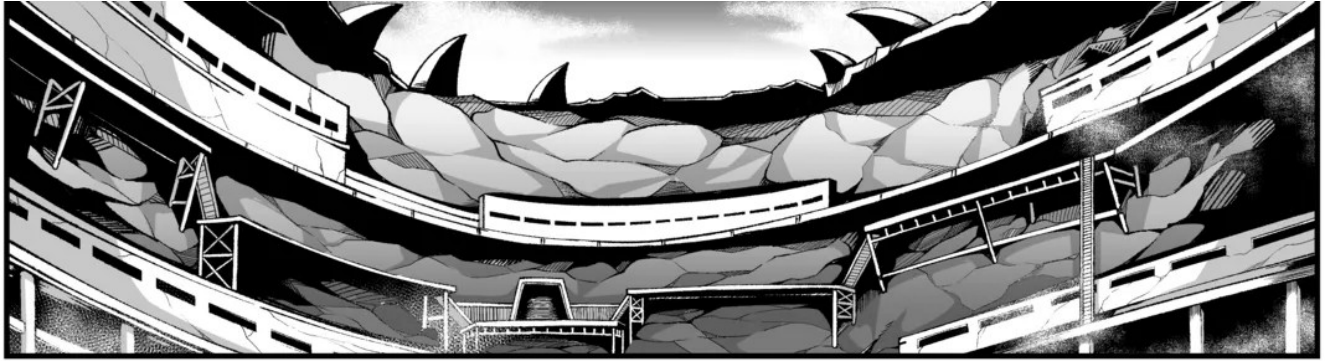
これは……
召喚陣……!!

だめっ!!



待って!

こんな召喚は
事故が……!



精隸牢獄

ここは
全てが地獄だ



例えるなら
下水道



しかし地獄にも
高低がある



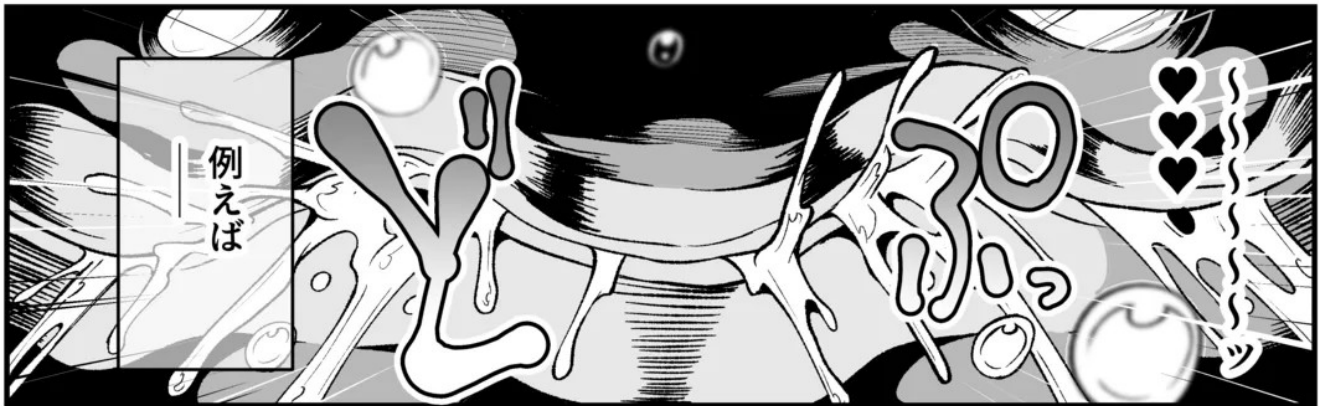
最底辺の
魔物が
潜む場所

そこではか
生きられない



奇形魔族が
召喚事故で
ぐちゃぐちゃに
成り果てたモノとか

例えば



例えば



召喚事故で
そんな魔物と癒合
してしまった精霊
とか……っ♡

んっ♡♡♡
うっ♡♡♡

ズッ
ガッ

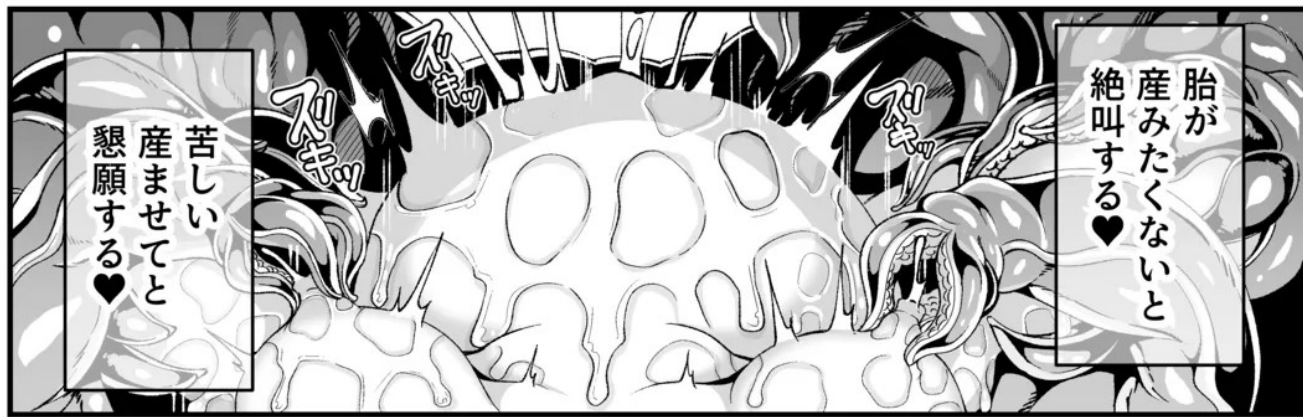


これらの軽蔑が
流れ込んで
くる♥

便器と辱められ
甚振られて悦ぶ
哀れな牝肉♥

ッ♥
ゴッ

ッ♥



胎が
産みたくなないと
絶叫する♥

苦しい
産ませてと
懇願する♥

ゴッ

ゴッ



これは

それを
弄んでる♥

ぢゅっ♥

ぢゅっ♥



私はただ
慈悲を乞う
しかない

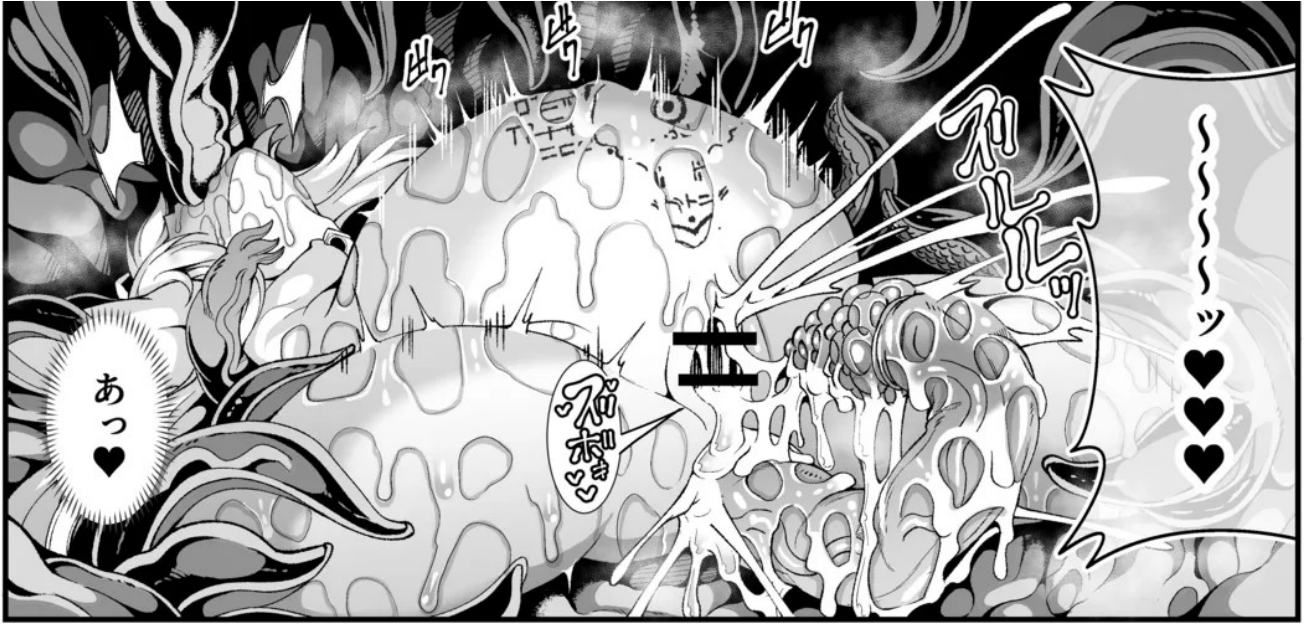
産ませて
産ませて
ください♥

♥ 産ませて

ゴッ

ゴッ

ゴッ



この地獄は
終わらない

はへえ
……っ
♡

軽蔑され虐められ
罵られて悦ぶ
変態便器として

はへっ
♡

へっ
♡

グロテスクな
魔物を産み続ける
惨めな仔袋として

私は
破滅し続ける

